



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan



【2008-2009年度 国際ロータリー 第2680地区】

東播第2グループ I.M.

日時 2月7日(土) 於：東播磨県民局



熱き心 - 私の価値観・倫理観 -

登山家 平林 克敏 氏
住友ゴム工業株式会社元専務取締役

1. 20世紀を支えた思想が遺したもの

- ・ 大航海時代から産業革命を経て近代科学主義を築いたもの
- ・ ヒマラヤ登山やチベット遠征，地球の最高峰エベレストの意味するもの
- ・ 人が生命を超えて行動し，その思いに賭ける姿とは何か

近代科学主義が育てた資本主義・自由主義の危機
先人たちが築いてきた文明の根底を流れる思想に立ち返る
驚異的發展を遂げた20世紀の負の遺産は何か，を明確に心に刻む



2. 人の具備している能力，それを支える心と思想

- ・ 未知へのあこがれ，知りたい欲求，真理の探究，オリジナリティーを求める心
- ・ パイオニアワーク，チャレンジ精神，感動や共感の心

慣れ親しむ環境の中では，思想を枯渇させリスクを避けようとする
進んで行動を起こすことによって，具備している能力が開発される
自然界の全ては刺激によって進化する，人も常に刺激が必要である

講師のご紹介 平林克敏 氏

中学・高校時代より自然科学に興味を持ち，植物や山岳気象などを通して北アルプスに登り続け，山の虜となる。同志社大学では山岳部のリーダーとして活躍，学生時代からヒマラヤ遠征に夢をさせ，その必要性を説き，自ら登山隊を組織してヒマラヤの高峰のいくつかに初登頂。
現在は特定非営利活動法人；コアネット理事・関西代表としてキャリア教育支援，中小企業支援，自治体の事業評価等に從事及び株式会社環境デザイン研究所特別顧問として活躍されております。

本誌は，職場や家庭に持ち帰って，皆様と一緒に読み下さい。

3. 不動の価値観，倫理観

- ・ 生体に刻む実体験の中から育つ重要な精神性
- ・ 知って，覚えて，認識しているだけの無意味さを知る
- ・ 安易な道を選ばない。困難な中から育つ価値観

知識は人の行動規範ではない，真の価値観を考える
手を汚し，汗を流し，どろどろになってやり抜いていく道を選ぶ
生体に刻まれる実体験の中から育つ見識と理念

4. 新しい世紀，人のあり方

- ・ 経済原則や資本の原理だけでは企業は立ち行かない（別紙）
- ・ 過熱していく経済や世相に動じない信条・理念・哲学を持つ
- ・ 常に高い理想と見識を持ち行動し，自らを鍛え律する力
- ・ 人と人との関係，コミュニティ作りの中にグローバルな新しい社会のあり方を考える

高い理想を持つと正しく生きられ，品格が備わる
情熱と行動のみが結果を生む...「熱き心」を持ち続ける
仮想現実（バーチャルリアリティ）の中から本物は生まれない
現場感に根ざす日本的な創業の精神に戻る

私の理念 - 危険を冒し未踏に挑む気概こそ未曾有の危機を救う -
（一部抜粋）

リーダー・経営者へのメッセージ

私は30年以上前から企業のあり方について，自然・資源・環境という三つの概念を深く理解している指導者が経営に携わり，その経営者の根底を流れる思想の中に，この三つの認識がなければ「いかなる企業と言えども自然の摂理によって淘汰される」と言う事を言い続け，今日に至っております。

即ち，「環境問題」や「資源問題」が「人口問題」との関わり合いの中で，人の心の動き，心の荒廃によって産業社会を崩壊させてしまう恐れがあるという考えを，あらゆる機会を通して言い続けてきました。

現下の社会情勢は，貪欲な人の心が作り出したものですから，この事が最も重要な視点となる時であると考えております。世界中に広がった欲にまみれた米国自由主義の終焉を示すものであり，市場原理主義は欠陥のある思想であることに多くの人が気づかされるほどの現況が目の前に横たわっているからであります。

私はエベレスト登頂（1970年）以降，280回に及ぶ講演の中で，山に学ぶ心の一環としてこの事を常に言い続け，「経済原則や資本の原理だけでは企業は立ち行かない」とも提唱してきました。経営者の「熱き心」，理念や信条，従業員の生き甲斐，を支えるリーダーの高邁な思想と情熱こそ重要であると考えます。

高い理想と見識があれば，「夢」があれば人は正しく生きられ，反社会的な行為など考えられないと信ずるからであります。

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan





プログラム予定

2月25日(水)	3月4日(水)	3月11日(水)	3月18日(水)
卓話 西田光衛 会員	卓話 辻田重恵 会員	高砂R.C.との合同例会 PM12:30~ 講師 河野仁美氏 於:高砂神社会館 【プログラム委員会担当】	職場例会 PM12:30~ 於:電源開発(株) 高砂火力発電所 【職業奉仕委員会担当】

国際理解月間講話

日時 平成21年2月18日
国際奉仕委員会委員長 原田 義之

I. クンパンヤー文庫15年目 “ 2680地区とのマッチング事業 ”

1. 当クラブとチェンライR.C.との姉妹提携奉仕事業 “ クンパンヤー文庫 ” に対し、2680地区から「過去15年間の地道な国際奉仕事業」として評価を得、今年度15万円の助成金を受けられました。
2. 当クラブ今年度当該予算12万円と15年目の特別事業として国際委員会で予算化した10万円を以って、チェンライR.C.の協力を得、下記要領で12小学校の引率先生と生徒60人による “ クンパンヤー会議 ” を開催しました。

記

2 - 1 日時 2009年1月22日 午前10時～午後1時30分

2 - 2 場所 チェンライピマインホテル

2 - 3 式次第

1) 開会 ジラサック

2) チェンライR.C.会長挨拶 ジラワット

3) 高砂青松R.C.会長挨拶 代読 原田義之

4) 「クンパンヤー文庫の意義と15年の歩み」

講話 高砂青松R.C. 原田義之 資料作成 チェンライR.C. ニックワタナ

5) 参加12校 教師と生徒の発表会 発表意見内容は、別添の通り

6) 全体講評 原田義之

7) 参加12校へのクンパンヤー文庫 贈呈 高砂青松R.C. & 2680地区

「贈呈図書目録について」は、下記3の通り

8) 感謝状 i チェンライR.C.から高砂青松R.C.

ii 12小学校校長から高砂青松R.C.

9) 会食ミーティング

10) 閉会 スッタム

3. 贈呈図書目録について

高砂青松R.C.とチェンライR.C.は15年前から、当時小学校学童の図書事情の悪いチェンライ地区小学校に対し、約3,000冊に及ぶ図書配本を行なってきました。

どのように、どんな図書を配本したら良いかは、現地の小学校事情に詳しいチェンライR.C.の指導のもとで継続してきました。

その結果今では、各校で自主的な図書管理方法をルール化し、多くの学校で多くの生徒達が、図書を自宅の持ち帰り、おじいちゃん、おばあちゃんに本を読んであげたり、一緒に読んだりして、非常に有効に活用されています。

この地区の高齢者は、未だ文字の読み書きが、また少数民族の親は、タイ語を話すことが困難な地域です。

幸いに今年度の当2680地区は、国際貢献事業の一環として、途上国での “ 識字率の向上 ” を掲げています。

今回の当クラブと地区とのマッチング事業は当を得たものであり、各校への贈呈図書も生徒が家に持ち帰り、家族と共に読むことが出来る本を選定し、特別贈呈を行ないました。



II. NPO法人「タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト」事業について

1. 私が理事長を務めるNPOで、タイ北部の高校、大学で日本語を学ぶ学生、学校に対し、その学習環境向上と将来とも日本・タイ国の発展的友好的関係を願い、将来を担うタイ国の若者の日本語学習環境を支援しています。
2. 今年度の、これまでの主な事業
 - 2-1 日本の幼児が読む「童話本」の配本 120冊
 - 2-2 日本文化、自然の理解のため、全国各地のポスター配布
高砂、神戸を含む、全国自治体、観光協会発行物 40枚
 - 2-3 “ゆかた”ボランティア寄贈 100着
 - 2-4 日タイ辞書 45冊
 - 2-5 ラチャパッド大学日本語学科で、「ゆかた着付け教室」開催
 - 2-6 国立ダムロン高校で、“JAPAN DAY”イベント開催
3. JAPAN DAY
去る1月24日に、下記要領でイベント実施
 - 1) 場 所 国立ダムロン高校
 - 2) 参加者 日本語科学生85名、学校関係者10名、チェンライロータリー10名
NPO会員7名(日本からボランティア参加) 総勢112名
 - 3) NPOからの奉仕
ゆかた、まつりタオル、うちわ 各150人分
そうめん、おむすび、みそ汁、のり巻き 各120食
日タイ辞典 45冊
ゆかた着付け 総勢105名に対して
阿波踊り、炭坑節の踊り指導 模範演舞、総踊り
4. 新規ボランティア「タイ国・日本語学習学生支援」 別資料

国際ボランティア1,000円募金(学生昼食20食分)

タイ北部・日本語学習学生支援にご協力を

一口1,000円(子供達20食分)の募金協力をお願い致します。

振込先: 郵便振替

口座記号番号: 00930 5 225391

口座名 : タイ国学生日本語教育環境支援プロジェクト

(通信欄に、“学生支援金”と書き添え下さい)

12小学校「クンパンヤー文庫」ミーティング会長挨拶 高砂青松R.C. 鹿間行雄

2009年1月22日 チェンライ・ピマインホテル

当クラブとチェンライR.C.とは、15年前から、チェンライ地区の小学校に、沢山の本を贈ることを続けてきました。これを「クンパンヤー文庫」と言っています。皆さんの学校にも贈りました。

15年間で、45万パーツのお金を使って、本を贈りました。1冊200パーツの本としたら、2,250冊にもなります。

皆さんや、先輩たちは、その本から外国のこと、科学のこと、自然のこと、そして親を大事にすること、などを学んだことでしょう。

15年目の今年は、12の小学校の先生と生徒に、集ってもらいました。先生同志で、また生徒同志で、自分の学校のことや、考え方などを、話し合ってください。将来、役に立つでしょう。思い出になるでしょう。

また皆さんの学校に、おじいちゃんや、おばあちゃん、もちろん両親と読んで欲しい本を用意しました。

どうぞ楽しく、役に立つミーティングになることを希望します。

最後に今日の準備をしてくれたチェンライR.C.会長ジラワットさんはじめ、会員の皆様に対し、心からお礼を申し上げます。

クンパンヤー文庫15年記念ミーティング 2009.1.22



12小学校先生と生徒60名



各校生徒・先生発表



小学校訪問



各小学校へ図書配本風景

NPO法人タイ国日本語教育環境支援プロジェクトJAPAN DAY 2009.1.24



校長より感謝状受ける



皆んなで巻き寿司, そうめん, おむすび, みそ汁を作る



楽しく昼食 自分で作ったものは美味しい



マンドリン演奏を



集合写真



ゆかた着付け教室



タイ学生による日本踊り?



総踊り





President

会長の時間

この度、R.I.のエド・フタ事務総長から、国際ロータリーとロータリー財団の2007~2008年度年次報告が届きました。

R.I.の年次報告では、水、保健と飢餓、識字率向上をはじめ、数々のプロジェクトを通じて、ロータリアンがいかに幅広い人道的ニーズに取り組んできたかが紹介されております。会員増強状況については、2008年度6月30日現在での全世界における会員数は1,231,483名（対前年度7,494名の増加）となっている

ようです。その他、収入、支出、運営費、投資収益、会長の経費、財務内容等が報告されております。

一方、R財団の年次報告では、さらに徹底したポリオ撲滅活動、そのほかの保健改善活動、また、教育の支援や貧困の緩和を通じて、世界理解と平和を築こうと活動する財団の弛まぬ努力が報告されております。その他、財務内容についての寄付状況、投資収益状況、プログラムの支出状況、財団の純資産の状況及び財団会計年度決済報告が記載されております。

詳しく目を通して見たいと思われる方は、申し出てください。事務局で保管しております。



et cetera

委員会報告

新世代委員会 鹿間虹美 会員

第31回RYLAセミナーが予定通り（3月26日（木）～3月29日（日））の日程で、土庄町余島で開催されます。

メンバーのご家族の方や企業の従業員で該当者が居られましたらお薦め下さい。ロータリアンの参加も歓迎しておりますので1日だけの参加もお考え下さい。年度末の大変な時期ですが、ポンポン舟でほんの5分程島へ渡ってのんびり過ごして頂くのも良いと思います。



Donation **ニコニコ報告**

鹿間 行雄

気候が大きく変動しています。体調には留意して下さい。

岡本 崇司

原田会員，本日卓話ご苦労様です。

竹原 俊三

嶋谷さん，藤本さん，I.M.での活躍おつかれさまでした。

嶋谷 拓雄

先日，2月7日I.M. 懇親会にて，ちんどん屋さんで出演させていただきました。ありがとうございました。

志方 正昭

王彩麗さん，ようこそ。

菊地 敬子

広報No.27の鹿間虹美さんの卓話の中にまちがいがあり訂正させていただきます。決議23-24を23-34と訂正いただきます様宜しく願います。鹿間虹美さん，ご迷惑をおかけしてすみませんでした。

増田耕太郎・中谷 利幸・菱田 克己
 柿木 國夫・栗原 康高・廣瀬 明正
 大森 千里・田中 浩行・京谷 慎平
 庄司 武・鹿間 虹美

花を飾りましょう。

小西 文孝・藤本 明久

誕生日お祝い有難うございました。



Secretary **幹事報告**

第26回 通算1390回

1. 回覧その他

ロータリーレートが3月より1ドル90円になります。

国際ロータリーワンロータリーセンターより「人類のために活動しますV」というCDが送られてきました。ご興味のある方は幹事までお申し出ください。

国際ロータリー第2680地区より地区大会に出席していただくR.I.会長代理が決定したと報告が届いております。

国際ロータリー第2680地区ガバナーエレクト事務所より2009-2010年度のロータリーのテーマが決定したというお知らせが届いております。

ザ・ロータリアン誌が届いております。神戸女子大学ローターアクトクラブよりフリーアクション開催のお知らせが届いております。

相生西ロータリークラブより週報が届いております。

日赤より献血状況が届いております。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
高砂ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	2/27(金)
明石北ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	3/24(火)
明石ロータリークラブ	春季親睦例会のため	4/1(水)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	4/8(水)
姫路ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	3/10(火)

高砂青松ロータリークラブ

通 算	第 3 7 8 回
2008 ~ 2009	第 8 回
日	平成 21 年 2 月 18 日
場 所	レストランにゅーばま

出席者

出席者				臨時出席者	
鹿 間 行		増 田		中 右	プログラム
菱 田		森 脇		竹 原	副幹事
岡 本		矢 野	×		
小 林	×	鹿 間 虹			
廣 瀬		原 田			

報告事項： 出席報告 (菱田 克己) (右記参照)
 会費納入状況 (小林 久夫) 1月末 63.46%

議案事項：

- 3月, 4月のプログラムの件 (右記参照)
 - 3月11日(水)合同例会の件《ホスト高砂青松R.C.》1承認
 場所 高砂神社会館
 講師 河野 仁美 氏
 演題 『ミュージカルナンバーを楽しむ』
 御礼 100,000円 (プログラム委員会拠出)
 なお, ピアノ使用料 (21,000円) はS.A.A.予算より充当することで了承された。
 - 3月18日(水)職場例会の件
 場所 電源開発(株)火力事業部高砂火力発電所
 ・手土産持参承認
 - 4月8日(水)観桜例会の件
 親睦委員会担当で4月8日実施承認
 - 4月17日(金)献血例会の件《ホスト高砂青松R.C.》【4月15日(水)例会分】
 社会奉仕委員会担当で4月17日実施承認
 - 4月22日(水)健康診断例会の件
 職業奉仕委員会担当で4月22日実施承認
- その他
 - 新年家族例会収支報告の件承認

出席報告

12月度 本クラブ出席率 63.69% メークアップ率 15.08% 修正出席率 78.77%

1月度 本クラブ出席率 69.57% メークアップ率 15.94% 修正出席率 85.51% (途中経過)

	12/3	12/10	12/17	12/23	1/14	1/17	1/28	
会 員 数	52	52	52	52	52	52	52	
出 席 数	32	36	29	17	27	37	32	
メークアップ	4	5	4	14	10	7	5	
欠 席 数	8	6	12	12	8	4	8	
出席免除	10	10	10	10	10	10	10	

2, 3月のプログラム

2 月		3 月	
4	2月7日(土)に変更 東播第2グループ I.M. 【ホスト 加古川平成R.C.】	4	卓話 辻田重恵会員
11	休会(祝日のため)	11	高砂R.C.との合同例会 PM12:30~ 講師 河野 仁美氏 於:高砂神社会館 【プログラム委員会担当】
18	卓話 原田義之会員 於:ふれあいの郷生石研修センター 【国際奉仕委員会担当】	18	職場例会 PM12:30~ 於:電源開発(株)高砂火力発電所 【職業奉仕委員会担当】
25	卓話 西田光衛会員	25	卓話 佐野栄作会員

例会記録 2009. 2. 7(土)通算1467回

来訪ロータリ
アン報告

(2月4日分)

松岡 和治 様(姫路南R.C.) 岡田 州史 様(明石西R.C.)
妹尾 敏昭 様(高砂R.C.) 作田 慎治 様(高砂R.C.)

出席報告

1月17日 会員数 52名 欠席者 4名 出席率 91.67% <修正による>
(この内出席免除者9名)2月7日 会員数 52名 欠席者 20名 出席率 55.56%
(この内出席免除者9名)

誕生祝

(2月18日例会分)

小 西 文 孝 会員
吉 田 一 富 会員
田 中 伸 明 会員
藤 本 明 久 会員
川 崎 一 生 会員
大 森 明 夫 会員

例会記録 2009. 2. 18 (水) 通算1468回

ソング
四つのテスト
本日のゲスト
来訪ロータリ
アン報告

「君が代」「我等の生業」「歓迎歌」

新世代委員会副委員長 佐野栄作

王 彩麗さん

妹 尾 敏 昭 様 (高砂R.C.)

片 嶋 純 雄 様 (高砂R.C.)

山 名 克 典 様 (高砂R.C.)

信 原 智 彦 様 (高砂R.C.)

作 田 慎 治 様 (高砂R.C.)

片 岡 正 様 (高砂R.C.)

尾 上 喜 秀 様 (高砂R.C.)



出席報告

1月28日 会員数 52名 欠席者 8名 出席率 82.22% <修正による>
(この内出席免除者10名)

2月18日 会員数 52名 欠席者 14名 出席率 70.21%
(この内出席免除者10名)

播磨ゆかりの偉人伝 ②7

司馬遼太郎 (しば・りょうたろう) ヒット作品量産の歴史小説家

この人ほど話題作を次々と発表し、その都度、NHKテレビで大河ドラマ化された小説家もいないだろう。「竜馬がゆく」(主演・北大路欣也)に始まり「国盗り物語」(平幹二郎)、「花神」(中村梅之助)、「翔ぶが如く」(西田敏行)、「最後の将軍徳川慶喜」(本木雅弘)、そして功名が辻」(仲間由紀恵)…。

大正12(1923)年、大阪市で生まれた。本名は福田定一。大阪外国語学校(現大阪大学外国語学部)に入学したあと、昭和18(1943)年、学徒出陣で満州に出兵。復員後は産経新聞社に入社し文化部長、出版局次長を務めるかたわら小説を書き始めた。

そんな司馬遼太郎が執筆活動に専念するようになったのは、昭和35(1960)年、伊賀の忍者を描いた「梟(ふくろう)の城」が直木賞に選ばれたのがきっかけだった。退社後、独自の歴史観に基づいて多くの作品を執筆、歴史小説に新風を送り込んだ。

坂本竜馬を描いた「竜馬がゆく」は発行2125万部の空前のベストセラーとなった。織田信長と齊藤道三を主人公にした「国盗り物語」とともに高い評価を受け、昭和41(1966)年、菊池寛賞を受賞している。

司馬が播磨を意識するようになったのは、そこが先祖の地と知ってからだ。播磨が舞台の「播磨灘物語」が刊行されたのは昭和50(1975)年。戦国の知将といわれた黒田官兵衛(如水)の生涯を描いた作品である。

夢前川河口近くの英賀村(現姫路市飾磨区英賀宮町)にあった英賀城。司馬の祖父は姫路市広畑の人で、その祖先をたどると英賀城の武将で官兵衛と敵対したという。その結果、一族は滅ぼされたから官兵衛は先祖の敵(かたき)になるのだが、もちろんそんな私情はいっさいはさまず史実にのっとって描いている。

平成3(1991)年、英賀城跡の一角にある英賀神社に「播磨灘物語」の文学碑が建てられた。平成8年には、姫路文学館に「司馬遼太郎記念室」がオープンした。ともに遠方から多くのファンが訪れている。

(主な参考文献=神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター)



会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)